

平成26年8月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア サ カ 理 研
 代 表 者 名 代表取締役社長 野 納 敏 展
 (コード番号:5724)
 問 合 せ 先 経営企画室長 金 澤 拓 哉
 TEL. 024-944-4744(代)

平成26年9月期通期業績予想の修正についてのお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年11月8日に公表した平成26年9月期(平成25年10月1日～平成26年9月30日)の通期連結業績予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

平成26年9月期 通期業績予想の修正について

(1)通期 連結業績(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,766	△114	△136	132	51 円 14 銭
今回発表予想(B)	7,981	△335	△356	68	27 円 64 銭
増減額(B-A)	△1,785	△220	△219	△63	—
増減率	△18.3%	—	—	△48.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年9月期)	9,456	203	190	116	46 円 87 銭

(2)修正の理由

当期において、貴金属事業における受託加工取引の割合が当初想定を上回っており、そのため、当社の製品として販売する貴金属の数量が、当初予想より減少しております。これにより、売上高は、前回発表予想を下回る、7,981百万円となる見込みです。

利益面では、新規事業である光触媒事業の伸びがあるものの、既存事業の拡大が想定を下回っていることと、一時的な製品構成の変化による利益率の低下により、当初予想を下回る見込みです。また、いわきに新設する生産技術開発センターに関係する研究開発費が、想定よりも増加する見込みであること、2014年4月に買収したマレーシア子会社において、立ち上げにかかる費用が増加することなどが、営業利益の押し下げ要因となります。以上により、連結営業損益は、335百万円の損失、連結経常損益は、356百万円の損失にそれぞれ修正いたします。

連結当期純利益は、技術開発に対する補助金収入を、特別利益として計画通り見込めることから、68百万円となる見通しです。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上